

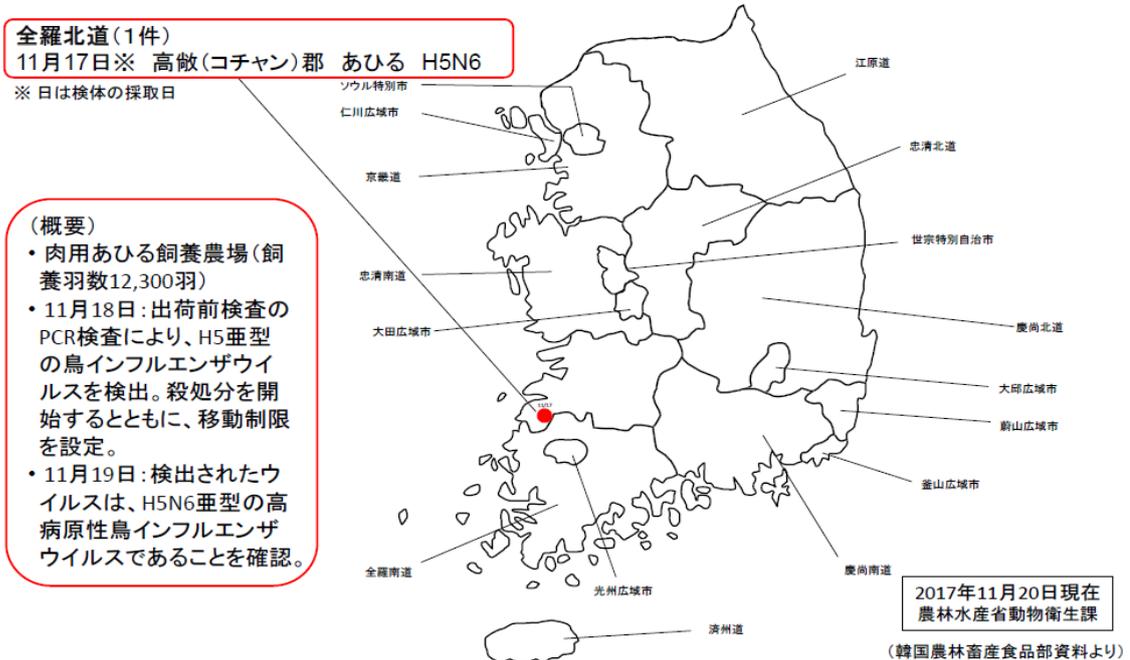


韓国での高病原性鳥インフルエンザの発生について

農林水産省より、11月18日、韓国全羅北道高敞郡の肉用あひる農場（飼養規模12,300羽）において、出荷前検査の結果、H5亜型の鳥インフルエンザウイルス抗原を検出し、現地の家畜防疫員が鳥インフルエンザ緊急行動指針に基づき、当該農場における殺処分、疫学調査等の緊急防疫措置を実施するとともに、検出されたウイルスはH5N6亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスであることが確認され、韓国内において家きんでの今シーズン初めてとなる高病原性鳥インフルエンザが発生した旨の連絡がありましたので、お知らせします。

会員の皆様方におかれましては、先般、島根県内において野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されたところであり、本病ウイルスの我が国へへの侵入リスクは非常に高まっておりますので、引き続き本病ウイルスの侵入防止対策の強化・徹底をお願いします。

韓国における高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生状況（2017年11月以降）



<農林水産省 高病原性鳥インフルエンザに関する情報>

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

【日鶏協回覧板】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2017年11月20日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

